

実施計画書 兼 事業説明書

【政策 1：子育て・教育】

心豊かで自立できる人が育つまち

【施策 1-1】教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

【施策 1-2】安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、
社会全体（みんな）で取り組みます

【施策 1-3】生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現をめざします

【施策 1-4】かけがえのない文化財を保存・継承し、積極的に活用します

【施策 1-5】スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

【施策 1-6】市民の人権意識を高めます

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
------	-----------------

所 管	教育委員会
関 連	
関 連	

◆ミッション

明治時代から受け継がれてきた「梅花教育」や、小諸の豊かな自然・歴史・文化といった財産や、医療・福祉などの子育て・教育に適した環境をフルに活用して、小諸ならではの子育てや生涯にわたり学びが実践できる環境を整える。

◎子どもたちの「生きる力」の育成を図る。

◎教育環境の充実とともに、一人ひとりに応じた学びを支える体制の強化を図る。

◎地域総ぐるみで子どもたちを育成する取り組みを推進する。

◎生涯学習を支える環境の充実を図り、市民の主体的な学びを促進する。

◎かけがえのない文化財を保存・継承し、積極的に活用する。

◎スポーツ振興を図るとともに、高地トレーニングがまちづくりにつながるよう取り組みの展開を図る。

◎人権啓発・人権同和教育を積極的に進め、市民の人権意識の高揚を図る。

◆方 針

◎子どもたちの「生きる力」の育成を図る。

子どもたちの「学びに対する意欲や喜び」を高め、基礎学力の向上とともに、問題解決的な学習を通して、自ら考え行動できる力の育成を図り、すべての学びの場を通して「自己肯定感」の育成に努める。そして、「確かな学力」と「豊かな人間性」「たくましく生きるための健康や体力」の総体である『生きる力』の育成を図る。

◎教育環境の充実とともに、一人ひとりに応じた学びを支える体制の強化を図る。

子どもたちの学びを適切に支えるため、施設・設備の整備・充実とともに、一人ひとりの学びに応じた人的体制の充実を図る。施設・設備面では、長期学校改築計画の策定、施設の長寿命化対策の推進、ICT環境の充実、保育園の再配置計画の策定等に取り組む。また、人的な面では、子育て・教育における課題の解決に向けて、時宜に応じた配置や充実に努める。

◎地域総ぐるみで子どもたちを育成する取り組みを推進する。

学校と家庭、地域、関係機関等との連携による信州型コミュニティスクールを推進するほか、子どもたちの健全育成と安全・安心の確保に向けて、地域総ぐるみでの取り組みの強化を図る。また、安心して子育てができるよう、各年齢段階に応じたサービスの充実に努めるとともに、多様な子育てニーズに応えるため、各種事業のさらなる充実を図る。

◎生涯学習を支える環境の充実を図り、市民の主体的な学びを促進する。

生涯を通じた学びが広がり、生きがいづくりにつながるよう、小諸ならではの様々な資源を活かしながら、学習環境の整備、生涯学習機会の創出を図り、市民の主体的な学びを促進する。また、まちじゅうに音楽があふれる「音楽のまち・こもろ」の実現に向け、各種事業の充実を図る。

◎かけがえのない文化財を保存・継承し、積極的に活用する。

ふるさと「小諸」のかけがえのない文化財の保存・継承・活用等に取り組むとともに、歴史的な資料や古文書の収集・保存・研究等を一体的に進める。また、小諸の誇りを認識し、ふるさとを愛し大切に思う心を育むため、小諸の歴史的、文化的なお宝や、自然のすばらしさを活かした「ふるさと学習」を進める。

◎スポーツ振興を図るとともに、高地トレーニングがまちづくりにつながるよう取り組みの展開を図る。

多様化するスポーツニーズへの対応に努めるとともに、統廃合を含め施設の適切な整備を図る。また、高地トレーニングで小諸を訪れるアスリートと市民との交流事業等を進め、競技へのきっかけの場やまちの活性化、健康づくりへの展開につなげる。

◎人権啓発・人権同和教育を積極的に進め、市民の人権意識の高揚を図る。

一人ひとりの人権が尊重され、大切にされる社会の実現に向け、保育園、小・中学校をはじめ、家庭、地域、企業等で、人権意識の啓発・人権同和教育を積極的に進める。また、教育・啓発活動とともに、市民の交流の機会の創出、相談体制の充実等を図る。

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1-1	教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

所 管	学校教育課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動できるような「生きる力」を育むため、豊かな心と健やかな体の育成・基礎学力の向上・子どもの学びを支える教育環境の整備などに取り組んでいる。

喫緊の課題としては、学校再編計画（長期学校改築計画）の早期策定であり、学校教育審議会からの答申をもとに計画の策定を進め、計画策定後は当該計画を着実に推進する。

また、学校現場で質の高い指導が行われるためには、「教職員の働き方改革」を推進し、教職員が子どもと向き合う時間を確保することが課題となっている。不登校やいじめの改善に向けた継続的な支援等についても、さらなる取り組みが必要である。

◆方針

目的
子どもたちの「学びに対する意欲や喜び」を高め、基礎学力の向上とともに、問題解決的な学習を通して、自ら考え行動できる力の育成を図り、すべての学びの場を通して「自己肯定感」の育成に努める。そして、「確かな学力」「豊かな人間性」「たくましく生きるための健康や体力」の総体である「生きる力」の育成を図る。
子どもたちの学びを適切に支えるため、施設・設備の整備面では、学校再編計画（長期学校改築計画）の策定、施設の長寿命化対策の推進、ICT環境の充実等に取り組む。また、一人ひとりの学びに応じた人的体制の充実を図る。

◆今後の取り組みのうち令和6年度重点方針と目標

- ・学校再編計画に基づき、小中一貫教育の導入、芦原中学校区再編校の基本設計等の策定・学校運営の検討等に取り組むとともに、再編校以外の学校施設の長寿命化等を計画的に進める。
- ・子どもたちの学習習慣、生活習慣の形成への支援、不登校未然防止の取り組みのほか、教員の資質向上や働き方改革の推進など「学びを支える体制づくり」を進める。
- ・小学校の「英語教科化」をはじめ「ICT教育」など、新学習指導要領への対応、環境整備を継続し学校現場への定着を図る。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
①豊かな心と健やかな体が育成され、基礎学力が向上し、子どもの学びを支える教育環境が構築された状態。
②学びに対する意欲や喜びが高まり、「生きる力」が育成された状態。

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	全国学力状況調査(小・中学校の全国平均値(100)との対比)					
設定理由	全国学力状況調査の結果が向上すれば、「学力」の習得の度合いが向上したと考えられるから。					
算式	※小:小学6年生・中:中学3年生の調査結果					単位 %
目標値	計画策定時		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	小93.5 中98.1	計画	小100 中100	小100 中100	小100 中100	小100 中100
		実績	小93.0 中94.0	小96.8 中93.7		
指標名	全国体力状況調査(小・中学校の全国平均値(100)との対比)					
設定理由	全国体力状況調査の結果が向上すれば、「体力」が向上したと考えられるから。					
算式	※小:小学5年生・中:中学2年生の調査結果					単位 %
目標値	計画策定時		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	小97.3 中93.4	計画	小100 中100	小100 中100	小100 中100	小100 中100
		実績	小100 中92.6	小92.3 中92.5		
指標名	学校へ行くことを楽しいと思っている児童・生徒の割合					
設定理由	上記指標の値が向上すれば、子どもたちの「学びに対する意欲や喜び」が高まり、「生きる力」の育成につながると考えられるから。					
算式	※小:小学6年生・中:中学3年生の調査結果					単位 %
目標値	計画策定時		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	小88.2 中76.0	計画	小88 中76	小88 中76	小88 中76	小88 中76
		実績	小82.4 中83.3	小88.3 中75.5		

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- ・教育委員会と校長会が緊密に連携し、小中一貫教育の導入に取り組む。
- ・プロポーザルにより選定した設計者等と芦原中学校区再編校の基本設計等の策定・学校運営の検討等に取り組む。
- ・学校施設の長寿命化に向けた改修を計画的に進める。
- ・多様なニーズや学校運営上の諸課題への支援を継続し、「学び」を支える体制づくりを進める。
- ・梅花教育推進事業交付金交付要綱の指導力向上事業(講演会、研修会、講習会等の開催及び参加等)により教員の指導力向上を図るとともに、新学習指導要領など学校教育の変化に対応した授業づくりや教員の働き方改革を推進するため、教育現場のICT化を進める。

◆SDGsの取り組み

ゴール4「質の高い教育をみんなに」

明治から受け継がれてきた「梅花教育」の精神のもと、新学習指導要領が求める主体的・対話的で深い学び(アクティブラーニング)の充実に向けて、教職員の教育観を高め、指導力を向上させるための研修を進めるとともに、児童・生徒に一人1台配備する情報端末を有効活用することにより、学習の質の向上と効率化を図る。
また、児童・生徒一人ひとりを支えるうえで必要な人材を配置することにより、個に応じた多様な学びの実現を支援する。

◆個別計画

教育振興基本計画／小中学校ICT環境整備計画／学校施設長寿命化計画／学校再編計画(長期学校改築計画)

◆特記事項

施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事業概要		【運営費】 ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく教育委員会の運営				
投入指標	令和6年度		令和7年度	令和8年度		
	年度別事業費		3,342 千円	3,342 千円	3,342 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	3,342 千円	3,342 千円	3,342 千円	
目的	教育の機会均等及び教育水準の維持向上を図るとともに、地域の実情に応じた教育振興施策を講じる。					
令和6年度の目標						
教育委員会各会議の精度を高め、活発な議論の場とする。 会議のペーパーレス化の実施を進める。						
活動目標	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	定期的な教育委員会の開催		回	12	12	12
特記事項	活動目標「事前研修・研究会の開催」を削除。(理由:形式的な開催になっていたことから、令和5年度から開催を中止したため。)					

施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名			新規・継続		事業優先順位		
姉妹都市教育委員等連携事業			継続		B		
会計・款・項・目			所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・1教育総務費・1教育委員会費			学校教育課		1:無		
事業概要	・中津川市が開催する岐阜サマーサイエンススクールへの参加を支援する。 ・滑川市と坂の上小学校との交流事業を支援する。 ・明治学院大学クリスマスツリー点灯式への参加。						
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	年度別事業費		1,546 千円	1,546 千円	1,546 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	60 千円	60 千円	60 千円		
		一般財源	1,486 千円	1,486 千円	1,486 千円		
目的	姉妹都市との交流を通じて他地域の文化や生活に触れる機会を創出し、子どもたちの交流事業を支援する。						
令和6年度の目標							
・サマーサイエンススクールの参加者確保のための周知徹底。 ・補助金の適正交付。							
活動目標	指標名			単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	サマー・サイエンススクールの参加人数			人	6	6	6
特記事項	バス代の高騰により令和6年度に予算額を増加。						

施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名			新規・継続	事業優先順位		
事務局運営費			継続	B		
会計・款・項・目			所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・1教育総務費・1教育委員会費			学校教育課	1:無		
事業概要	【運営費】					
	・施策推進のための事務局運営費					
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		1,406 千円	1,364 千円	1,364 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	1,406 千円	1,364 千円	1,364 千円	
目的	各施策推進のため適正な執行を進める。					
	令和6年度の目標					
引き続き、事業の取捨選択及び課内の連携を密に図ることで生産性を高める。						
活動目標	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
特記事項						

施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名			新規・継続	事業優先順位	
学校運営費			継続	B	
会計・款・項・目			所管課	市長公約事項	
一般会計・10教育費・1教育総務費・2学校運営費			学校教育課	1:無	
事業概要	【運営費】				
	・小中学校運営の支援。				
	・特色ある学校運営を推進するための補助金の交付。				
	・教職員の資質向上を図るための補助金の交付。				
投入指標	・小学校の英語教科化に伴う効果的な英語教育の実践と中学校の英語教育との連携を強化する取り組みを進める。				
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費	29,342 千円	29,342 千円	29,342 千円	
	特定財源	国・県支出金	400 千円	400 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	28,942 千円	28,942 千円	28,942 千円	
目的	小中学校において、子どもの「学ぶ環境」の整備を図るとともに、適切に学校運営ができるよう支援する。				
	小学校低学年から英語に触れる環境の形成、中学校での英語教育の高度化、教職員の指導力向上など、英語教育全体の充実を図る。				
令和6年度の目標					
・教職員の働き方改革についての研究及び教職員の負担軽減の取り組みを継続する。					
・英語教育において学習指導要領に基づき、コミュニケーションを図る資質・能力を育成する取り組みを進める。					
・教職員の校務効率化、事務職員の負担軽減及び印刷機能の拡充のため、小中学校の印刷環境を整える。					
活動目標	指標名	単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	「自分の考えを深めることが出来た」と答えた児童の割合	%	81	82	83
	「お互いの意見を生かし解決方法を定める」と答えた生徒の割合	%	66	67	68
特記事項	・令和4年度から、会計年度任用職員人件費を学校運営費人件費へ移行。				

施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事業概要			事業優先順位			
学校再編事業			新規・継続			
会計・款・項・目			新規			
一般会計・10教育費・1教育総務費・2学校運営費			A			
学校教育課			市長公約事項			
2:有						
今後の教育のあり方、児童・生徒数の減少、校舎の老朽化、小諸市公共施設等総合管理計画等を踏まえ、市内小中学校のあり方について検討し策定した「小諸市学校再編計画」に基づき、小中一貫教育の推進及び推進のための学校整備を進める。						
投入指標	令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	年度別事業費		101,631 千円		1,800,000 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円		500,000 千円	
		地方債	0 千円		0 千円	
		その他	0 千円		0 千円	
		一般財源	101,631 千円		1,300,000 千円	
「小諸市学校再編計画」に基づく学校再編の推進。						
令和6年度の目標						
・小中一貫教育の推進。 ・芦原中学校区再編に関わる基本設計の策定。						
活動目標	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	小中一貫教育推進会議の開催		回	10	10	10
	芦原中学校区再編に関わる会議等の開催		回	6	12	12
特記事項						
令和6年度より長期学校改築事業を変更 令和5年度学校再編計画策定						

施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名			新規・継続	事業優先順位		
小学校管理費運営費			継続	B		
会計・款・項・目			所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・2小学校費・1学校管理費			学校教育課	1:無		
事業概要	【運営費】					
	・小学校の管理・運営 ・関係団体・事業への負担金交付 ・傷害保険の給付 ・小学校における児童・教職員を対象とした各種検診・検査の実施					
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		122,774 千円	122,774 千円	122,774 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	2,260 千円	2,260 千円	2,260 千円	
		一般財源	120,514 千円	120,514 千円	120,514 千円	
目的	小学校の管理・運営に必要な備品等の調達など、児童の学習環境を整備する。 児童・教職員の健康管理を行うとともに、傷害保険給付により保護者の負担軽減を図る。					
令和6年度の目標						
・全小学校においてCRT検査を実施し、学力向上につなげる。 ・QU検査又はハイパーQU検査を実施し、学級の状態把握と今後の学級経営の方針を把握する。 ・備品の適正な管理を行う。 ・適正に傷害保険給付を行い、保護者の負担軽減を図る。 ・労働安全衛生法に基づくストレスチェックを全校で実施するか検討する。						
活動目標	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	災害共済給付金の申請件数		件	200	190	180
特記事項	・令和4年度から、会計年度任用職員人件費を小学校管理費人件費へ移行。					

施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名			新規・継続	事業優先順位		
小学校施設維持管理事業			継続	A		
会計・款・項・目			所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・2小学校費・1学校管理費			学校教育課	1:無		
事業概要	・小学校施設を維持管理するための保守点検、修繕、営繕工事など					
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		43,787 千円	243,000 千円	243,000 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	66,666 千円	66,666 千円	
		地方債	0 千円	133,334 千円	133,334 千円	
		その他	190 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	43,597 千円	43,000 千円	43,000 千円	
目的	小学校施設を適切に維持・管理するため保守点検、修繕、営繕工事を行い、児童の学習環境を整備する。					
令和6年度の目標						
・学校の要望を踏まえつつ計画的な改修、修繕工事を実施する。						
活動目標	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	施設の長寿命化に繋がる改修件数		件	0	1	1
特記事項						

施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名			新規・継続	事業優先順位		
小学校給食運営事業			継続	B		
会計・款・項・目			所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・2小学校費・1学校管理費			学校教育課	2:有		
事業概要	自校方式で学校給食を提供する。					
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		27,843 千円	27,843 千円	27,843 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	27,843 千円	27,843 千円	27,843 千円	
目的	安全で美味しい学校給食を提供するとともに、食育を推進する。					
令和6年度の目標						
・地産地消の取り組みについて、保護者などへの市民周知を引き続き行う。 ・アレルギー対応に関するマニュアル等の検証を行い、適宜改定を行う。 ・調理従事員研修会については、県教育委員会職員等外部から講師を招くなど、内容を充実させる。 ・調理業務委託を見据え、各役割分担の明確化と衛生等マニュアルの整備を行う。						
活動目標	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	一人当たりの給食残食量(g／年)		g	660	650	640
特記事項	・令和4年度から、会計年度任用職員人件費を小学校管理費人件費へ移行。					

施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事業概要			新規・継続		事業優先順位	
小学校教育振興支援事業			継続		B	
会計・款・項・目			所管課		市長公約事項	
一般会計・10教育費・2小学校費・2教育振興費			学校教育課		1:無	
事業概要			・遠距離通学児童の保護者に対する補助金の交付 ・要保護・準要保護世帯に対する就学援助費の支給 ・特別支援教室に通う児童の保護者に対する就学奨励費の支給 ・小学校低学年時の学習習慣形成と集団生活の中での生活習慣の形成 ・小学校の理科教育備品の整備 ・「きらら会」による小学5年生を対象とした体験授業の開催			
投入指標			令和6年度		令和7年度	
年度別事業費			27,430 千円		27,430 千円	
特定財源			1,275 千円		1,275 千円	
国・県支出金			1,275 千円		1,275 千円	
地方債			0 千円		0 千円	
その他			0 千円		0 千円	
一般財源			26,155 千円		26,155 千円	
目的			・文化芸術体験を通じて豊かな感性を養う。 ・特別な配慮や支援を必要とする児童、保護者に対して支援を行う。			
令和6年度の目標						
・学習指導要領に基づき必要となる教科用備品の整備を引き続き行う。 ・就学援助費については、学校と密な連携から対象者を確実に把握し、交付要件を確認したうえで適切に交付する。 ・支援教員の資質向上のための研修会を実施する。						
活動目標			指標名		単位	
			支援教員への研修回数		回	
					5	
特記事項			・令和4年度から、会計年度任用職員人件費を小学校管理費人件費へ移行。			

施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事業概要			事業優先順位			
小学校ICT教育推進事業			B			
会計・款・項・目			市長公約事項			
一般会計・10教育費・2小学校費・2教育振興費			2:有			
・1人1台情報端末を活用した情報教育の推進と環境の整備 ・校務のICT化による働き方改革の推進						
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		13,640 千円	16,808 千円	134,068 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	73,333 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	13,640 千円	16,808 千円	60,735 千円	
目的	・情報通信技術を活用した教育環境の整備のほか、児童が情報に正しく向き合い、適切に利用できる力を育む。					
令和6年度の目標						
・授業での情報端末の効果的な活用促進。 ・ICT環境の整備促進。						
活動目標	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	パソコンを活用した授業時間の割合		%	40	40	40
特記事項	令和6年度より印刷サービスの統合にともない予算減。 令和7年度に校務用PCの入れ替え、令和8年度にchromebookの入れ替えが必要。					

施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名			新規・継続	事業優先順位		
中学校管理費運営費			継続	B		
会計・款・項・目			所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・3中学校費・1学校管理費			学校教育課	1:無		
事業概要	【運営費】					
	・中学校の管理・運営 ・関係団体・事業への負担金交付 ・傷害保険の給付 ・中学校における生徒・教職員を対象とした各種検診・検査の実施					
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		97,407 千円	59,870 千円	59,870 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	2,550 千円	2,550 千円	2,550 千円	
		一般財源	94,857 千円	57,320 千円	57,320 千円	
目的	中学校の管理・運営に必要な備品等の調達など、児童の学習環境を整備する。 児童・教職員の健康管理を行うとともに、傷害保険給付により保護者の負担軽減を図る。					
	令和6年度の目標					
・教科書採択に伴う教科用指導書及び参考図書を整備する。 ・必要な教材、教具の整備を計画的に行う。 ・備品の適切な管理を行う。 ・適正に傷害保険給付を行い、保護者の負担軽減を図る。 ・労働安全衛生法に基づくストレスチェックを全校で実施するか検討する。						
活動目標	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	災害共済給付金の申請件数		件	200	190	180
特記事項	・令和4年度から、会計年度任用職員人件費を中学校管理費人件費へ移行。					

施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事業概要			・中学校施設を維持するための保守点検、修繕、営繕工事など。			
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		19,780 千円	20,000 千円	20,000 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	50 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	19,730 千円	20,000 千円	20,000 千円	
目的	中学校施設を適切に維持・管理するため、保守点検・修繕・営繕工事を行い、生徒の学習環境を整備する。					
令和6年度の目標						
学校再編を見据え、芦原中学校職員室に空調設備について検討する。						
活動目標	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	施設の長寿命化に繋がる改修件数		件	1	0	0
特記事項	小諸東中学校南校舎の大規模改修工事は令和5年度繰越事業にて実施予定。					

施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事業概要			事業優先順位			
中学校給食運営事業			B			
会計・款・項・目			市長公約事項			
一般会計・10教育費・3中学校費・1学校管理費			2:有			
自校方式で学校給食を提供する。						
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		8,635 千円	8,635 千円	8,635 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	8,635 千円	8,635 千円	8,635 千円	
安全で美味しい学校給食を提供するとともに、食育を推進する。						
令和6年度の目標						
・地産地消の取り組みについて、保護者などへの市民周知を引き続き行う。 ・アレルギー対応に関するマニュアル等の検証を行い、適宜改定を行う。 ・調理従事員研修会については、県教育委員会職員等外部から講師を招くなど、内容を充実させる。 ・調理業務委託を見据え、各役割分担の明確化と衛生等マニュアルの整備を行う。						
活動目標	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	一人当たりの給食残食量(g／年)		g	360	350	340
特記事項	・令和4年度から、会計年度任用職員人件費を中学校管理費人件費へ移行。					

施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事業概要			新規・継続		事業優先順位			
中学校教育振興支援事業			継続		B			
会計・款・項・目			所 管 課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・3中学校費・2教育振興費			学校教育課		1:無			
事業概要			・部活動の外部指導者として市内の人材を活用した際の当該指導者に対する謝礼の支払い ・中学校の理科教育備品の整備 ・遠距離通学生徒の保護者に対する補助金の交付 ・要保護・準要保護世帯に対する就学援助費の支給 ・特別支援教室に通う生徒の保護者に対する就学奨励費の支給 ・アメリカ合衆国ミシガン州ホランドのホープカレッジへの中学生の派遣					
投入指標			令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	年度別事業費		27,436 千円		32,940 千円		32,940 千円	
	特定財源	国・県支出金	1,485 千円		1,485 千円		1,485 千円	
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円	
		その他	0 千円		0 千円		0 千円	
	一 般 財 源		25,951 千円		31,455 千円		31,455 千円	
目的			・部活動支援を行う。 ・理科教育備品の充実を図る。 ・特別な配慮や支援を必要とする生徒、保護者に対して支援を行う。 ・小諸市と歴史的につながりのある海外都市(大学)との交流を通じて、グローバル社会に適応できる人材を育成する。					
令和6年度の目標								
・コロナ禍で休止していた中学生の海外派遣について、令和7年度の実施に向けて取り組む。 ・学校現場のニーズを把握し、事業が円滑に実施出来るよう、引き続き事務改善に取り組む。 ・部活動指導員の活動内容を検証するとともに、人材の確保に努める。 ・就学援助費については、学校との密な連携から対象者を確実に把握し、交付要件を確認したうえで適切に交付する。								
活動目標	指 標 名			単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	英語指導として、英語で発表する言語活動をした割合			%	100	100	100	
	支援教員への研修回数			回	5	5	5	
特記事項			・令和4年度から、会計年度任用職員人件費を中学校管理費人件費へ移行。					

施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名			新規・継続	事業優先順位		
中学校ICT教育推進事業			継続	B		
会計・款・項・目			所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・3中学校費・2教育振興費			学校教育課	1:無		
事業概要	・1人1台情報端末を活用した情報教育の推進と環境の整備 ・校務環境のICT化による教員の働き方改革の促進					
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		7,355 千円	8,987 千円	67,727 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	36,666 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	7,355 千円	8,987 千円	31,061 千円	
目的	情報通信技術を活用した教育環境の整備のほか、生徒が情報に正しく向き合い適切に利用できる力を育む。					
令和6年度の目標						
・授業での情報端末の効果的な活用促進。 ・ICT環境の整備促進。						
活動目標	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	パソコンを活用した授業時間の割合		%	40	40	40
特記事項	印刷サービス統合により予算減。 令和7年度に校務用PC、令和8年度にchromebookの入れ替えが必要。					

施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名			新規・継続		事業優先順位	
奨学費運営費			継続		B	
会計・款・項・目			所管課		市長公約事項	
小諸市奨学資金特別会計・1奨学費・1奨学費・1奨学費			学校教育課		1:無	
事業概要						
・小諸市奨学金審査会の運営 ・小諸市大津秀子奨学基金、小諸市あさま奨学基金の運用管理						
投入指標						
		令和6年度		令和7年度		令和8年度
特定財源	年度別事業費		302 千円	302 千円	302 千円	
	国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債		0 千円	0 千円	0 千円	
	その他		302 千円	302 千円	302 千円	
	一般財源		0 千円	0 千円	0 千円	
目的						
家庭的、経済的な理由により就学が困難な生徒・学生に対して奨学金を貸与及び給付を行い、就学機会の拡大を図る。						
令和6年度の目標						
・就学機会を確保するため、適正な運用に努める。						

施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事業概要			新規・継続		事業優先順位			
奨学費貸付事業			継続		B			
会計・款・項・目			所 管 課		市長公約事項			
小諸市奨学資金特別会計・1奨学費・1奨学費・1奨学費			学校教育課		1:無			
小諸市大津秀子奨学金の貸付と返済受納								
投入指標			令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	年度別事業費		6,660 千円		6,660 千円		6,660 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円	
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円	
		その他	6,660 千円		6,660 千円		6,660 千円	
		一 般 財 源	0 千円		0 千円		0 千円	
目的	家庭的、経済的な理由により就学が困難な大学進学希望者に対して奨学金を給付をし、就学機会の拡大を図る。							
令和6年度の目標								
・就学機会の拡大を図るため、適正な運用に努める。								
活動目標	指 標 名			単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
特記事項								

施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事業概要			新規・継続		事業優先順位				
奨学費給付事業			継続		B				
会計・款・項・目			所管課		市長公約事項				
小諸市奨学資金特別会計・1奨学費・1奨学費・1奨学費			学校教育課		1:無				
小諸市あさま奨学金の給付									
投入指標			令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	年度別事業費		7,200 千円		7,200 千円		7,200 千円		
	特定財源	国・県支出金		0 千円		0 千円		0 千円	
		地方債		0 千円		0 千円		0 千円	
		その他		7,200 千円		7,200 千円		7,200 千円	
		一般財源		0 千円		0 千円		0 千円	
家庭的、経済的な理由により就学が困難な大学進学希望者に対して奨学金を給付し、就学機会の拡大を図る。									
目的									
令和6年度の目標									
・就学機会を確保するために、適正な運用に努める。									
活動目標	指標名			単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
特記事項									

事務事業名					新規・継続
事務局人件費					継続
会計・款・項・目					所管課
一般会計・10教育費・1教育総務費・1教育委員会費					学校教育課
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度
	年度別事業費		98,541 千円	98,541 千円	98,541 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源		98,541 千円	98,541 千円	98,541 千円
事務事業名					新規・継続
学校運営費人件費					継続
会計・款・項・目					所管課
一般会計・10教育費・1教育総務費・2学校運営費					学校教育課
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度
	年度別事業費		56,368 千円	56,368 千円	56,368 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源		56,368 千円	56,368 千円	56,368 千円
事務事業名					新規・継続
原油価格・物価高騰対応事業					継続
会計・款・項・目					所管課
一般会計・10教育費・1教育総務費・2学校運営費					学校教育課
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度
	年度別事業費		30,000 千円	0 千円	0 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源		30,000 千円	0 千円	0 千円
事務事業名					新規・継続
小学校管理費人件費					継続
会計・款・項・目					所管課
一般会計・10教育費・2小学校費・1学校管理費					学校教育課
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度
	年度別事業費		233,061 千円	233,061 千円	233,061 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源		233,061 千円	233,061 千円	233,061 千円
事務事業名					新規・継続
中学校管理費人件費					継続
会計・款・項・目					所管課
一般会計・10教育費・3中学校費・1学校管理費					学校教育課
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度
	年度別事業費		73,017 千円	73,017 千円	73,017 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源		73,017 千円	73,017 千円	73,017 千円

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1ー2	安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

所 管	こども家庭支援課
関 連	学校教育課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

少子化、核家族化の進行や、地域の人と人とのつながりの希薄化、共働き家庭の増加など、子どもと子育て家庭を取り巻く環境が大きく変化している。これに伴って、子育てに関するニーズが増大するとともに多様化が進み、その対応が求められている。

今後も少子化が進行する中、将来にわたってより良い保育環境が提供できるよう、ニーズにあった多様な保育の充実と、需要を満たす教育・保育施設の受け入れの確保、増加傾向にある特別な教育的ニーズのある子どもへの適切な支援、また社会問題となっている児童虐待の防止対策などが課題となっている。

◆方針

目的
家庭における子育ての負担や不安、孤立化を和らげ、安心して子育てができる環境づくりを、行政だけでなく、家庭ですべきこと、地域で支え合えることなど役割分担をしながら社会全体(みんな)で取り組む。 ファミリーサポートセンターや病児保育事業など多様な保育を充実するとともに、保育園においては、私立と連携しながら需要に対応する受け入れを確保し、また効率的に施設運営を継続するため、保育園の再配置計画の策定を進める。特別な教育的ニーズのある子どもに対しては、自立と社会参加に向けた支援を行う。児童虐待の対応においては、関係機関が連携して発生予防、早期発見、発生時の迅速な対応・支援を行う。

◆今後の取り組みのうち令和6年度重点方針と目標

- ・児童虐待への迅速な対応など子どもの権利擁護とその家庭への支援を的確に実施するため、関係機関との連携強化を図るとともに、子どもと子育て家庭への総合的な窓口として「こども家庭センター」を設置する。
- ・子育て家庭のニーズや子どもの意見を反映させ、今後の子育て施策等を示す「こども計画」を策定する。併せて保育所等再配置計画策定に向けた検討を進める。
- ・未満児保育ニーズに対応できるよう、保育人材の確保に努めるとともに、保育士業務の効率化を進めるなど保育環境の充実を図る。
- ・特別支援教育の相談体制を充実し、個別の教育的ニーズのある子どもに的確な指導を提供する。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
①社会全体(みんな)の取り組みによって、安心して子育てができる環境が充実した状態。 ②特別な教育的ニーズのある子どもが、周囲に理解されながら有効な支援をうけることにより、状況の改善や生活力の向上が図られ、より良い成長が促される状態。 ③児童虐待においては、関係機関が児童等に関する情報や支援方針を共有し的確な対応を行うことにより、子どもが適切な養育を受けられる状態。

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	子育てしやすい環境づくりに対する市民満足度(市民意識調査)					
設定理由	子どもが心身ともに健やかに育つために、安心して子育てができる環境が必要であるから。					
算式	市政への満足度(1)子育てしやすい環境づくり 満足+やや満足+普通の合計					単位 %
目標値	計画策定時		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	55.8	計画	57	57.5	58	58.5
		実績	59.3	48.8		
指標名	要保護児童対策地域協議会の進行管理ケースの中で支援が終結したケースの割合					
設定理由	児童虐待があった、またそのリスクの高い家庭を積極的に支援し、児童等の適切な養育につなげるため。					
算式	年度内の進行管理件数のうち、支援を終結した件数の割合					単位 %
目標値	計画策定時		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	19	計画	20	20	20	20
		実績	31	29		
指標名						
設定理由						
算式						単位 %
目標値	計画策定時		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		計画				
		実績				

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- ・核家族化、女性の就業率向上などから増加する3歳未満児の保育需要に対応するため保育人材確保に努めるとともに、保育園のあり方についての検討を行う。
- ・子ども子育て支援事業計画に基づき子育て支援の各種事業を進めるとともに、令和7年度から5年間を計画期間とする、こども計画の策定を行う。
- ・保育園の安心安全な給食を継続するため委託業者の評価を定期的に行い、子どもたちに美味しい給食の提供を行う。
- ・支援が必要な子どもを早期発見し専門的な教育相談が受けられるよう関係機関との連携を深め、必要な支援を効果的、効率的に実施するとともに、指導者の資質向上に努める。
- ・子どもの権利擁護と子育て世帯への相談支援体制の強化に向け、関係機関との連携強化を図るとともに、こども家庭センター機能の拡充を図る。
- ・学校、家庭、教育支援センターと連携し、不登校の改善に向けた支援を継続的に進める。

◆SDGsの取り組み

- Goal 4 「質の高い教育をみんなに」
子どもの心身の成長が著しい幼児期、学童期に、良質な教育・保育を確保し、心豊かでたくましく生き抜く力を持つ自立した人を育てる。
- Goal 16 「平和と公正をすべての人に」
障がいや児童虐待などで支援を必要とする子どもや家庭へ、関係機関が連携して支援を行い、適切な養育を受け、子どもの健やかな成長・発達や自立等を保障する。

◆個別計画

教育振興基本計画／子ども・子育て支援事業計画／地域福祉計画・地域福祉活動計画

◆特記事項

施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名			新規・継続	事業優先順位		
保育所運営事業			継続	B		
会計・款・項・目			所 管 課	市長公約事項		
一般会計・3民生費・3児童福祉費・3保育所費			こども家庭支援課	2:有		
事業概要	保護者の就労等により、保育が必要な子どもたちが心身ともに健やかに育つよう、養護の行き届いた環境を整え、公立保育園を運営する。					
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		173,573 千円	197,047 千円	196,259 千円	
	特定財源	国・県支出金	663 千円	663 千円	663 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	21,792 千円	21,792 千円	21,792 千円	
		一般財源	151,118 千円	174,592 千円	173,804 千円	
目的	子育て世帯が安全に通園させられる保育の場を提供して、保護者が安心して子育てのできる環境にするため。入所する子どもに、乳幼児期にふさわしい生活の場を提供し子ども主体の保育を行い、保護者とともに子どもたちを心身ともに健やかに育てる。					
令和6年度の目標						
・子ども子育て支援事業計画に沿った事業を実施する。 ・安全計画に基づいた安全確保のための取組を実施し、安心できる保育園運営を行う。 ・給食調理業務について、委託業者との連携を図るとともに適切な評価を実施する。 ・保育園ICTを定着させ、保育士業務の効率化を図り、保育の質を向上させる。 ・潜在的待機児童の解消に向けて、保育士の人材確保に努める。 ・感染症等や施設の維持管理等についての安全対策を実施し、安全に過ごせる保育環境を整備する。						
活動目標	指 標 名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	待機児童数		人	0	0	0
特記事項	保育所の運営について、施設の統廃合、民営化などの検討が必要。 女性の就業率の向上や早い段階での職場復帰など3歳未満児の入所ニーズが増え、一層の保育士不足が懸念される。					

施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事業概要		事業優先順位				
子ども・子育て支援事業		B				
会計・款・項・目		市長公約事項				
一般会計・3民生費・3児童福祉費・3保育所費		2:有				
子どもの成長支援・子育て世帯への支援の総合的な展開を「子ども・子育て支援新制度」により図る。就労前の子育て支援に関係する事業(私立保育園、認定こども園、幼稚園、家庭的保育事業等)を統一的に所管し、新制度による認定給付システムの運用をスムーズに実施する。						
投入指標	令和6年度		令和7年度	令和8年度		
	年度別事業費		834,619 千円	986,029 千円		
	特定財源	国・県支出金	559,795 千円	559,795 千円		
		地方債	0 千円	0 千円		
		その他	18,635 千円	18,635 千円		
		一般財源	256,189 千円	407,599 千円		
目的	法律に従った子育て支援の事業・給付を適切に提供し、子育て世帯への支援を行い子どもの健全な成長を保障する環境を整備する。					
令和6年度の目標						
・第3期子ども・子育て支援事業計画等を含むこども計画を策定する。						
・計画策定と評価、子育て施策検討のため、子ども・子育て会議を定期的に開催する。						
・病児病後児保育施設(こもろスマイル園)について関係者と連携を図り、適切な運営を行う。						
・ファミリーサポートセンター事業について、委託により事業を実施する。また、事業のPRの強化と利用促進を図る						
・幼保無償化について、適正な運用、給付を行う。						
活動目標	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	新制度利用の申請率		%	100	100	100
特記事項	待機児童数		人	0	0	0

施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名			新規・継続	事業優先順位		
子どもセンター運営事業			継続	B		
会計・款・項・目			所 管 課	市長公約事項		
一般会計・3民生費・3児童福祉費・5子育て支援費			こども家庭支援課	1:無		
事業概要	・乳幼児期の子育て環境の向上のため親子が安心して過ごすことのできる施設運営 ・子育てについて情報を発信し、必要な育児相談を日常的に実施 ・放課後の児童生徒の安全対策、健全育成のための施設運営					
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		27,936 千円	27,936 千円	27,936 千円	
	特定財源	国・県支出金	5,759 千円	5,759 千円	5,759 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	16 千円	16 千円	16 千円	
		一 般 財 源	22,161 千円	22,161 千円	22,161 千円	
目的	乳幼児子育て保護者の孤立化などにより十分な育児ができない状況が見受けられるため、子育て環境充実のため施設サービスを提供し、家庭での安定した育児を支援する。また放課後に児童が安全安心に過ごすことのできる居場所を提供し健全な育成を図る。					
令和6年度の目標						
・保護者がサービスを必要としたときの選択肢の一つとして検討できるよう広報こもろ等を活用して周知活動を積極的に行う。 ・利用者ニーズを踏まえ、個人相談業務の充実を図ると共に、人材確保に努める。 ・感染症対策を徹底しながら、安全安心な施設運営を行う。						
活動目標	指 標 名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	出生届け時・小学校入学説明会での案内配布率		%	100	100	100
	利用者数		人	10,000	10,000	10,000
特記事項						

施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事業概要			事業優先順位			
児童クラブ運営事業			B			
会計・款・項・目			市長公約事項			
一般会計・3民生費・3児童福祉費・5子育て支援費			1:無			
保護者の就労等により保育を必要とする児童に対し、放課後の安全確保と、保護者に代わり健全な育成を図る施設の運営						
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		19,833 千円	19,833 千円	19,833 千円	
	特定財源	国・県支出金	5,278 千円	5,278 千円	5,278 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	3,000 千円	3,000 千円	3,000 千円	
		一般財源	11,555 千円	11,555 千円	11,555 千円	
目的	子育て環境充実のため、放課後の児童生徒が安全安心に生活できる居場所を提供し、健全な育成を図るとともに、就労している保護者の負担を軽減させる施設サービスを提供する。					
令和6年度の目標						
・小諸市子ども子育て支援事業計画及び制度に沿った施設運営を行う。 ・職員配置や施設修繕などを行い、利用者に安全な環境を提供する。 ・基本的な感染症対策を徹底するとともに、安心安全な運営を行う。						
活動目標特記事項	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	該当小学校における新入学児童の保護者説明会の実施割合		%	100	100	100
	児童クラブ利用希望者の受入割合		%	100	100	100

施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事業概要			事業優先順位			
児童施設運営事業			B			
会計・款・項・目			市長公約事項			
一般会計・3民生費・3児童福祉費・5子育て支援費			1:無			
児童に健全な遊びを通して、その健康を増進し、情操を豊かにする児童館の運営						
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		42,973 千円	42,973 千円	42,973 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	2,000 千円	2,000 千円	2,000 千円	
		一般財源	40,973 千円	40,973 千円	40,973 千円	
目的	18歳未満のすべての子どもを対象に、遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、子どもを心身ともに健やかに育成することを目的とする。					
令和6年度の目標						
・小諸市子ども子育て支援事業計画及び制度に沿った施設運営を行う。 ・職員配置や施設修繕などを行い、利用者の安全な環境を提供する。 ・基本的な感染症対策を徹底するとともに、安心安全な運営を行う。						
活動目標特記事項	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	該当小学校の新入学児童に対する保護者説明会の実施割合		%	100	100	100
	児童館利用希望者の受入割合		%	100	100	100

施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事 務 事 業 名			新規・継続	事業優先順位		
子ども家庭支援事業			継続	B(A)		
会計・款・項・目			所 管 課	市長公約事項		
一般会計・3民生費・3児童福祉費・5子育て支援費			こども家庭支援課	2:有		
事業概要	・児童福祉法および母子保健法の改正により、「子ども家庭総合支援拠点」と「母子健康包括支援センター」の機能や役割を維持しながら一体化した相談支援を行う。 ・要保護児童対策地域協議会の調整機関として、児童虐待防止および子どもの権利擁護のため関係機関と連携して子どもや家庭を支援する。					
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		16,825 千円	17,000 千円	17,000 千円	
	特定財源	国・県支出金	7,719 千円	7,100 千円	7,100 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一 般 財 源	9,106 千円	9,900 千円	9,900 千円	
目的	全ての妊産婦、子育て世帯、子どもに対し、母子保健・児童福祉の両機能が一体的に相談支援を行うために、「こども家庭センター」を設置し運営していく。					
令和6年度の目標						
・国の掲げる母子保健と児童福祉の両機能が一体的に支援する機関としての「こども家庭センター」を設置し、妊産婦、子育て世帯、子どもに関する相談支援を一元的に行う。 ・子どもや家庭の個別支援にあたっては、関係する機関が専門性を生かし役割分担をしながらチームとなって適切な支援を行えるよう調整する。 ・チーム支援に必要な関係機関との連携を行いながら、必要なサービス等の地域資源の開拓を行っていく。						
活動目標	指 標 名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	市内における養護相談数のうち、市が直接受付した割合		%	40	40	40
	母子保健に対する乳幼児健診時のアンケートによる満足度		%	92.6	92.6	92.6
特記事項	A=「こども家庭センター」の設置、子育て支援家庭訪問事業、親子関係形成支援事業、子ども家庭支援員の増員 令和6年度から子育て世代包括支援センター運営事業を統合。					

施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	事業優先順位		
青少年育成補導推進事業		継続	B		
会計・款・項・目		所 管 課	市長公約事項		
一般会計・3民生費・3児童福祉費・5子育て支援費		こども家庭支援課	1:無		
事業概要	青少年の健全な成長の啓発及び地域での活動支援として、各地域や小中学校における事業の支援を行うほか、青少年の非行防止のための巡回活動、有害環境の排除を行う。				
投入指標		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費	2,838 千円	2,838 千円	2,838 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	2,838 千円	2,838 千円	2,838 千円		
目的	青少年が社会との関わりを自覚しつつ、自律した個人として自己を確立し向上していけるように、また青少年の健やかな成長のために支援していく。				
令和6年度の目標					
・青少年補導委員の公募委員を増やす。 ・青少年健全育成推進のため、補導委員会が各区育成会やPTA支部と連携を図り、現在おかれている青少年の課題や問題点に対応できる体制の強化を行う。					
活動目標	指標名	単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	公募による青少年補導委員	人	5	5	5
特記事項	青少年健全育成都市宣言に関する決議(平成9年3月21日)				

施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事業概要			事業優先順位			
特別支援教育等推進事業			B			
会計・款・項・目			市長公約事項			
一般会計・10教育費・1教育総務費・3教育支援費			2:有			
・配慮を要する児童や生徒が適切な学びの場へ繋がるよう相談支援を行うとともに、教育支援委員会を運営し、適切な判断を行う。						
・学校等において、配慮を要する児童生徒に対し適切な支援が行われるよう、特別支援教育の浸透を図る。						
・学校運営を補助し配慮を要する児童生徒への支援を行うため、学校生活支援員を配置する。						
・学校生活支援員や特別支援教育に関わる教職員等のスキルアップを図るため、研修や講演会等を実施する。						
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		640 千円	640 千円	640 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	640 千円	640 千円	640 千円	
目的	特別な教育的ニーズのある子どもに対し、必要な支援が適切に行える環境を整備する。					
令和6年度の目標						
・児童生徒の状況を学校や関係機関と共有し、児童生徒本人を中心とした支援が行えるようにする。						
・支援が必要な児童生徒の支援体制を把握し、各校において効果的・効率的な支援体制に資する学校生活支援員の配置を行う。						
・学校生活支援員や児童生徒に関わる教職員等の特別支援教育に関する資質向上を図る。						
活動目標	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	教育支援相談における心理検査実施件数		件	100	100	100
特記事項	教育支援委員会において判断審議した児童・生徒数		人	70	70	70
	令和3年度から、特別支援教育等推進事業に就学指導支援事業を統合。					
令和4年度から、会計年度任用職員人件費を子ども相談費人件費(R6～教育支援費人件費)へ移行。						
令和6年度、旧子ども育成課から移管。						

施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名			新規・継続	事業優先順位		
教育支援センター等運営事業			継続	B		
会計・款・項・目			所 管 課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・1教育総務費・3教育支援費			学校教育課	2:有		
事業概要	・幼児、児童及び生徒に関する教育相談並びに不登校改善等の教育的支援を行なう。 ・支援の拠点となる教育支援センターを設置運営するとともに、中学校に不登校支援講師を配置し、連携して学びの継続のための支援を行う。					
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		1,491 千円	1,400 千円	1,400 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一 般 財 源	1,491 千円	1,400 千円	1,400 千円	
目的	様々な原因により集団生活への不適応や不登校となっている児童生徒の課題の改善を図るために、教育相談や自立に向けた教育支援等を行う。					
令和6年度の目標						
・支援センターに通室している児童生徒の学習や生活支援、適応指導などを在籍校と連携して行う。 ・長期欠席による家庭内引きこもりの児童生徒およびその家庭に対し、在籍校などの関係機関と連携して学びの継続を目指す支援(多様な学びの場の提供など)を行う。 ・集団生活への不適応等、悩みを抱えている児童生徒、保護者、担任等からの相談に応じ、教育的支援が受けられるよう関係機関と連携して対応する。						
活動目標	指 標 名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	センター職員による相談訪問等対応件数		回	400	400	400
	センターに通室している児童生徒の在籍校等への復帰率		%	20	20	20
特記事項	令和4年度から、会計年度任用職員人件費を子ども相談費人件費(R6～教育支援費人件費)へ移行。 令和6年度、旧子ども育成課から移管。					

事 務 事 業 名					新規・継続
保育所費人件費					継続
会計・款・項・目					所 管 課
一般会計・3民生費・3児童福祉費・3保育所費					こども家庭支援課
投入 指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度
	年度別事業費		544,503 千円	566,791 千円	566,791 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	45,100 千円	43,430 千円	43,430 千円
	一 般 財 源		499,403 千円	523,361 千円	523,361 千円
事 務 事 業 名					新規・継続
児童福祉総務費人件費					新規
会計・款・項・目					所 管 課
一般会計・3民生費・3児童福祉費・1児童福祉総務費					こども家庭支援課
投入 指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度
	年度別事業費		79,611 千円	79,611 千円	79,611 千円
	特定 財源	国・県支出金	3,162 千円	3,162 千円	3,162 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一 般 財 源		76,449 千円	76,449 千円	76,449 千円
事 務 事 業 名					新規・継続
教育支援費人件費					継続
会計・款・項・目					所 管 課
一般会計・10教育費・1教育総務費・3教育支援費					学校教育課
投入 指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度
	年度別事業費		73,686 千円	73,686 千円	73,686 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一 般 財 源		73,686 千円	73,686 千円	73,686 千円

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1ー3	生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

所 管	文化財・生涯学習課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

図書館は開館以来多くの市民に利用いただいているが、文化センターは各施設とも利用者数が減少傾向で推移している。文化センター、美術館、記念館における各種講座等の参加者数は安定しているが、参加者の裾野を広げていくことが課題である。
美術館・記念館等の生涯学習施設は経年劣化が進んでおり、施設全ての長寿命化を実施するためには、多額の費用を要する。

◆方針

目的
市民の主体的な「学び」を促進するため、魅力ある企画展や市民ニーズを踏まえた各種講座・教室を開催し、生涯学習の機会を創出する。併せて、市民が「学び」の成果を生かし、生きがいづくりにつながるような機会の創出を図る。 生涯学習施設については、各施設の老朽化等を踏まえ、今後のあり方を検討し、管理計画を策定する。 「音楽のまち・こもろ」を実現するため、作曲コンクールやミニコンサート等、まちじゅうに音楽があふれるよう事業の充実に取り組む。

◆今後の取り組みのうち令和6年度重点方針と目標

- ・図書館では、市民の知の拠点、多様な文化と出会う場として、市民の役に立つ事業を計画し実行する。
- ・市民ニーズを踏まえた各種講座や教室等の充実を図り、市民の主体的な学習と活動を支援する。また美術館等の企画展、公民館自主事業のPR拡充を図る。
- ・生涯学習施設では、長寿命化を含めた施設管理計画を策定し、快適に利用できるよう環境整備に取り組む。
- ・音楽団体等との連携を図り、市民が音楽に親しむ機会が増えるよう、工夫しながら各種事業を行う。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
①市民が主体的に学び、自らを高め、学びの成果を地域で活かし、生きがいをもって生活している状態。 ②生涯学習施設が適切に管理・運営され、市民が芸術・文化にいつでもふれることができる状態。 ③市民が作曲コンクールやミニコンサートなどにより音楽にふれ、生き生きと暮らしている状態。

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	文化・芸術を身近に感じている人の割合(市民意識調査)					
設定理由	文化・芸術を身近に感じている人の割合が高まれば、市民の主体的な「学び」が促進されていると考えられるから。					
算式						単位 %
目標値	計画策定時		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	—	計画	41	42	43	44
		実績	36.2	38.6		
指標名	芸術・文化に親しむ機会の充実に対する市民満足度(市民意識調査)					
設定理由	芸術・文化に親しむ機会の充実に対して満足と感じている人の割合が高くなれば、市民が芸術・文化にいつでもふれることができていると考えられるから。					
算式						単位 %
目標値	計画策定時		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	65	計画	70	73	75	76
		実績	63.6	72.7		
指標名	ミニコンサートの鑑賞者数					
設定理由	ミニコンサートの鑑賞者数が多くなることにより、市民が音楽にふれ、生き生きと暮らすことができていると考えられるから。					
算式						単位 人
目標値	計画策定時		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	727	計画	802	842	884	900
		実績	450	754		

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

・みんなの役に立つ図書館として、学習活動、市民活動、余暇活動の場と情報を提供する。 ・市民ニーズを踏まえた魅力ある講座や教室、企画展、イベントなどを開催する。 ・生涯学習施設を快適に利用できるよう、適切な管理運営を行う。また、生涯学習施設の老朽化を踏まえた長寿命化工事等を計画的に実施する。 ・音楽のまちこもろの実現に向け、各種事業の充実や新規事業の創出を図る。
--

◆SDGsの取り組み

ゴール4「質の高い教育をみんなに」 生涯を通じた学びを提供できるよう社会教育施設における講座等を充実し、生涯学習機会の創出を図る。 ゴール11「住み続けられるまちづくりを」 市民の主体的な学びの場を提供できるよう図書館や公民館の充実を図る。
--

◆個別計画

教育振興基本計画／子ども読書活動推進計画

◆特記事項

--

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事業概要			事業優先順位			
社会教育総務費運営費			B			
会計・款・項・目			市長公約事項			
一般会計・10教育費・5社会教育費・1社会教育総務費			1:無			
出前講座の実施。社会教育委員会の開催。二十歳を祝う会の開催。						
投入指標	令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	1,550 千円		1,550 千円		1,550 千円	
	0 千円		0 千円		0 千円	
	0 千円		0 千円		0 千円	
	38 千円		38 千円		38 千円	
	1,512 千円		1,512 千円		1,512 千円	
生涯学習の場と生涯学習推進体制の整備を行うとともに、社会教育委員の知識と経験から得た提言を事業内容に反映させる。						
令和6年度の目標						
・社会教育委員連絡会において、社会教育分野の課題等について調査検討を行い、提言書にまとめ教育委員会へ提出する。						
・市民のニーズに応じた出前講座を開催することにより、生涯学習の推進を図る。						
・出前講座の仕組みを利用して学校教育との連携を強化する。						
・「二十歳を祝う会」対象者の代表で実行委員会を組織し、特色ある式典の企画及び運営を行う。						
活動目標	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	社会教育委員連絡会開催回数		回	4	4	4
	社会教育委員行事参加要請回数		回	5	5	5
・令和6年度から「成人式開催事業」を統合						

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名			新規・継続	事業優先順位		
小諸藤村文学賞事業			継続	B		
会計・款・項・目			所 管 課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・5社会教育費・1社会教育総務費			文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要	「小諸・藤村文学賞」の作品募集、審査、表彰など (「小諸藤村文学賞」は、平成4年に、藤村生誕120年、没後50年を記念して創設された。作品の応募は、日本全国からにとどまらず海外からの応募もある。)					
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		5,131 千円	3,648 千円	3,648 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	80 千円	80 千円	80 千円	
		一 般 財 源	5,051 千円	3,568 千円	3,568 千円	
目的	生涯学習の推進を図るとともに、小諸の文化を発信する一環として、小諸市にゆかりの深い文豪・島崎藤村の名を冠した文学賞を設け、広く作品(随筆・エッセイ)を募集し、表彰する。					
令和6年度の目標						
・全国に小諸藤村文学賞の応募に向けた情報発信を行う。 ・第28回から新設した市民対象の賞のPRを行い、小諸市内の応募者、特に中学生、高校生からの応募増に努める。 ・市民に入選作品を紹介することにより、生涯学習の推進を図る。 ・最優秀作品集「あたたかき光Ⅲ」の製作にあたり、新たな財源の確保を検討する。						
活動目標	指 標 名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	一般応募者数		人	870	870	870
	市内中高生応募者数		人	160	160	160
特記事項	・令和6年度から活動指標①について、実績を踏まえ増加から過去の水準回復に変更 ・令和6年度から活動指標②について、目標を達成したことから現在の水準維持に変更					

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事業概要			事業優先順位	
史料館等の運営、維持管理を行う。			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要			B	
事業概要				

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事業概要		まちじゅうに音楽があふれる「音楽のまち・こもろ」をめざして、作曲コンクールやミニコンサートのほか各種事業を推進する。				
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		1,860 千円	1,860 千円	1,860 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	1,860 千円	1,860 千円	1,860 千円	
目的	まちじゅうに音楽をあふれさせることにより、まちを活性化し、小諸市民に元気や勇気、潤いや癒しを与える。					
令和6年度の目標						
・月1回ミニコンサート(まちタネライブを含む)を開催する。 ・「音楽のまち・こもろ作曲コンクール」について、応募者を増やす取組みを継続して実施する。 ・音楽団体に呼びかけ、事業を推進するための意見を聞く。 ・音楽団体(個人含む)のネットワークづくりを行う。						
活動目標	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	音楽のまち・こもろ作曲コンクールの応募件数		件	200	200	200
特記事項	ミニコンサートの開催回数		回	12	12	12

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事業概要			事業優先順位	
市立小諸図書館の基本理念「みんなの役に立ちます」と5つの基本方針に則った公共図書館の運営			B	
事業概要			市長公約事項	
市立小諸図書館の基本理念「みんなの役に立ちます」と5つの基本方針に則った公共図書館の運営			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1:無	
事業概要			1	

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名			新規・継続	事業優先順位		
公民館運営事業			継続	B		
会計・款・項・目			所 管 課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・5社会教育費・3公民館費			文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要	趣味や教養を高める学習とともに、地域課題に直結する学習と実践を支援する社会教育の拠点施設として、施設の維持管理を行う。					
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		2,327 千円	2,388 千円	2,388 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	2,096 千円	1,753 千円	1,753 千円	
		一 般 財 源	231 千円	635 千円	635 千円	
目的	生涯学習による生きがいづくりの場を提供する施設として、公民館を運営・維持管理する。					
令和6年度の目標						
利用者に支障をきたさないよう、施設の運営・維持管理を行う。						
活動目標	指 標 名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	公民館運営審議会の開催回数		回	1	1	1
	こもろ女性の家運営委員会開催回数		回	1	1	1
特記事項						

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事 務 事 業 名			新規・継続	事業優先順位		
公民館報発行事業			継続	B		
会計・款・項・目			所 管 課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・5社会教育費・3公民館費			文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要	広報こもろと併せた公民館報を編集し、発行する。					
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		3,164 千円	3,164 千円	3,164 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一 般 財 源	3,164 千円	3,164 千円	3,164 千円	
目的	公民館支館・分館での地域の動きや学習情報を市民に提供し、地域と密着した広報活動を行う。また、公民館・女性の家・文化会館の各種講座や催し物の周知や報告を行う。					
令和6年度の目標						
公民館活動が、年間にわたって、いつ、どこで、何の事業等を開催するかについて、分かりやすく伝わるよう、創意工夫を図る。						
活動目標	指 標 名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	公民館報の発行回数		回	12	12	12
特記事項						

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名			新規・継続	事業優先順位		
支館・分館支援事業			継続	B		
会計・款・項・目			所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・5社会教育費・3公民館費			文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要	公民館支館・分館が身近な学習の拠点として、地域の課題解決や担い手の育成など、地域活性化・まちづくりや地域防災につながる住民の主体的な学習と活動の支援をする。また、他の支館・分館活動の情報交換をする。					
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		5,765 千円	5,765 千円	5,765 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	5,765 千円	5,765 千円	5,765 千円	
目的	公民館支館・分館が、学習と活動を結びつけて地域づくりにつなげる地域の拠点となるよう支援をする。					
令和6年度の目標						
・公民館役員研修会等において、各支館・分館の事業に参考になるよう、講演会や事例発表を行う。 ・引き続き、各支館・分館の事業に対し、交付金により側面的な支援を行う。						
活動目標	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	公民館役員研修会		回	3	3	3
特記事項						

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名			新規・継続	事業優先順位		
学級・講座等開催事業			継続	B		
会計・款・項・目			所 管 課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・5社会教育費・3公民館費			文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要	・各種学級・講座等の企画・運営をする。 ・自主学習グループの育成指導等をする。					
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		2,047 千円	2,065 千円	2,065 千円	
	特定 財 源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一 般 財 源	2,047 千円	2,065 千円	2,065 千円	
目的	市民の主体的な「学び」を促進するため、生涯学習の拠点として、幅広い年齢層の学習ニーズに応え、講座・教室や講演会を開催し、生涯学習の機会を創出する。					
令和6年度の目標						
・アンケート等から市民のニーズの把握に努め、学級・講座等の内容について検討する。 ・世代や男女を問わず参加しやすい環境づくりを図る。						
活動目標	指 標 名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	公民館の講座参加者数		人	800	800	800
	公民館の講座数		回	100	100	100
特記事項						

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名			新規・継続		事業優先順位	
文化センター運営事業			継続		B	
会計・款・項・目			所 管 課		市長公約事項	
一般会計・10教育費・5社会教育費・4文化センター費			文化財・生涯学習課		1:無	
事業概要						
文化会館等施設環境の整備をする。 市民文化の向上と文化振興を図るため、自主事業を開催する。また、貸館で、利用者の利便を図る。						
投入指標						
特定 財源			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		44,730 千円	39,851 千円	39,851 千円	
	国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債		0 千円	0 千円	0 千円	
	その他		8,901 千円	4,678 千円	4,678 千円	
	一 般 財 源		35,829 千円	35,173 千円	35,173 千円	
目的						
文化発信の場とするために、文化会館等の維持管理と、文化団体との連携による自主公演事業を開催する。						
令和6年度の目標						
・ホール施設の音響(ワイヤレスマイク)の改修を行う。 ・自主公演事業では、文化会館開館40周年記念事業を企画し、多くの方に来ていただけるよう開催する。						
活動目標						
特記事項	指 標 名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	自主公演事業開催回数		回	3	3	3

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事業概要			新規・継続		事業優先順位	
小山敬三美術館運営事業			継続		B	
会計・款・項・目			所 管 課		市長公約事項	
一般会計・10教育費・5社会教育費・5美術館・博物館費			文化財・生涯学習課		1:無	
小山敬三美術館の運営・維持管理 (選び抜かれた作品を集め、長く安全に保管することで、多くの人々に作品鑑賞の機会を提供し、多様な文化、歴史、感性があることを知ってもらう。)						
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		7,716 千円	7,548 千円	7,548 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	600 千円	600 千円	600 千円	
		一 般 財 源	7,116 千円	6,948 千円	6,948 千円	
目的			小山敬三氏寄贈の趣旨により美術作品(洋画等)及び遺品を保管展示し、地域文化の振興と青少年の芸術への関心を高めるとともに、その画業を記念する。			
令和6年度の目標						
・新収蔵作品の公開をはじめ、企画展の開催、講演会、写生会などを通し、作品鑑賞の場をより多く提供する。						
活動目標	指 標 名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	入館者数		人	22,000	22,000	22,000
特記事項						

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名			新規・継続		事業優先順位	
高原美術館・白鳥映雪館運営事業			継続		B	
会計・款・項・目			所 管 課		市長公約事項	
一般会計・10教育費・5社会教育費・5美術館・博物館費			文化財・生涯学習課		1:無	
事業概要	高原美術館・白鳥映雪館の運営・維持管理 (選び抜かれた作品を集め、長く安全に保管・展示することで、多くの人々に作品鑑賞の機会を提供し、多様な文化、歴史、感性があることを知らせる。)					
	高原美術館・白鳥映雪館の企画展の開催(小諸・地域に関わりのある作品を中心に展示し、その鑑賞により来館者に有意義な時間を過ごしてもらう。)					
投入指標			令和6年度		令和7年度	
	年度別事業費		19,301 千円		17,780 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円		0 千円	
		地方債	0 千円		0 千円	
		その他	2,772 千円		2,772 千円	
		一 般 財 源	16,529 千円		15,008 千円	
目的	郷土出身の作家の作品を適正かつ大切に保管・展示することで、生涯学習の場としての機会を提供するとともに、内容の異なる企画展を開催することで館の魅力を高め、市民をはじめ多くの方に来館してもらう。					
	令和6年度の目標					
・館の維持管理・運営を適正かつ円滑に行うとともに、展示他活動の周知・宣伝に努め、入館者増を図る。						
・老朽化が進む施設や設備について、修繕の必要な箇所を把握し、管理計画を策定する。						
・企画展について、内容を工夫しながら年10回開催し、多くの方に来館していただけるよう努める。						
・協議会委員から企画展の内容について意見をいただき、魅力ある企画展を開催する。						
活動目標	指 標 名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	入館者数		人	17,000	17,000	17,000
特記事項	企画展等開催回数		回	10	10	10
	高原美術館・白鳥映雪館企画展開催事業を統合 実績を踏まえ活動指標の目標を上方修正					

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事業概要			新規・継続		事業優先順位	
藤村記念館運営事業			継続		B	
会計・款・項・目			所 管 課		市長公約事項	
一般会計・10教育費・5社会教育費・6記念館費			文化財・生涯学習課		1:無	
藤村記念館の運営・維持管理 (島崎藤村の遺墨、遺品及び関係資料を収集し、保管し、これを教育的配慮の下に展示して、市民の利用に供し、その教養と調査研究等に資する。)						
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		4,166 千円	2,725 千円	2,725 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	341 千円	341 千円	341 千円	
		一 般 財 源	3,825 千円	2,384 千円	2,384 千円	
目的	市民が主体的に学べる生涯学習の場として、島崎藤村が、1899年(明治32年)から1905年(明治38年)までの7年間、小諸で過ごした時代の偉業を顕彰し、その精神を今後も引き継ぎ、広く関係者と連携し発展させていく。					
令和6年度の目標						
・「藤村忌」「文学講座」「出前講座」「企画展」の開催により、義塾記念館と併せ、館の魅力を高める。						
活動目標特記事項	指 標 名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	入館者数		人	34,000	34,000	34,000
	藤村忌参加者		人	200	200	200

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事業概要		小諸義塾記念館の運営・維持管理 (小諸義塾に関する資料を収集、保管、展示し、市民の学習、学術、文化の発展に資する。)				
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		1,786 千円	934 千円	934 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	10 千円	10 千円	10 千円	
		一般財源	1,776 千円	924 千円	924 千円	
目的	木村熊二を招き1893年(明治26年)に開校し、1906年(明治39年)閉塾まで小諸の中等教育の拠点であった「小諸義塾」に関する資料を収集保存し、その教育精神を今後も引き継ぎ、広く関係者と連携し発展させていく。					
令和6年度の目標						
・藤村記念館と合わせ広報することにより、入館者を増やす。 ・館の効率的な運営のため、開館日数の調整を試行的に実施する。						
活動目標	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	入館者数		人	12,000	12,000	12,000
特記事項						

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名			新規・継続	事業優先順位		
高濱虚子記念館運営事業			継続	B		
会計・款・項・目			所 管 課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・5社会教育費・6記念館費			文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要	高濱虚子記念館の運営・維持管理 (高濱虚子に関する資料を収集し、保管し、及び展示して市民の知識及び教養の向上を図り、もって市民文化の振興に寄与する。)					
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		4,323 千円	4,323 千円	4,323 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	215 千円	215 千円	215 千円	
		一 般 財 源	4,108 千円	4,108 千円	4,108 千円	
目的	市民が主体的に学べる生涯学習の場として、高濱虚子が、1944年(昭和19年)から1947年(昭和22年)までの3年間、小諸で過ごした時代の偉業を顕彰し、その精神を今後も引き継ぎ、広く関係者と連携し発展させていく。					
令和6年度の目標						
・コロナ禍で極端に減少した入館者を呼び戻すため、地元の俳句の里づくり実行委員会と連携した取組を行う。 ・引き続き入館者が少ない冬季は閉館し、館を運営する。						
活動目標	指 標 名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	入館者数		人	2,400	2,400	2,400
	虚子・こもろ全国俳句大会応募者		人	6,000	6,000	6,000
特記事項						

事 務 事 業 名					新規・継続
社会教育総務費人件費					継続
会計・款・項・目					所 管 課
一般会計・10教育費・5社会教育費・1社会教育総務費					文化財・生涯学習課
投入 指 標			令和6年度	令和7年度	令和8年度
	年度別事業費		122,941 千円	122,941 千円	122,941 千円
	特 定 財 源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一 般 財 源		122,941 千円	122,941 千円	122,941 千円

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1ー4	かけがえのない文化財を保存・継承し、有効に活用します

所 管	文化財・生涯学習課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

「KOMORO HISTORY」「小諸ふるさと遺産」「古文書学習講座」などにより文化財に関する学びの機会を醸成している。また、指定文化財保護補助金により保存・継承を図っている。

文化財の所有者・継承者の高齢化や後継者不足などにより、保存・継承・活用等が難しくなっている。

古文書の整理・調査を古文書調査室で行っているが、収集・保存・展示・調査研究等を行う体制が不足しており、郷土の貴重な歴史的資料や古文書等の散逸が危惧される。

課題であった旧小諸本陣(問屋場)の解体・復原工事に着手するが、多額の費用を投じるため、今後の活用方法を含め十分な検討を要する。

◆方針

目的
小諸市文化財保存活用基本方針に基づき、文化財を単に保存・継承するだけでなく、観光面等と連携を取り積極的な有効活用を図る。
個人や団体が所有・継承している文化財は、適切に保存・継承・活用等ができるよう、助言、情報提供、標識設置、管理・修理費の補助等の支援を行う。
郷土の貴重な歴史的資料や古文書等が散逸しないよう、収集・保存・展示・研究等を一体的に行う体制の充実を図る。
ふるさと「小諸」を愛し、大切に思う心を育み、歴史的、文化的なお宝や、自然のすばらしさを活かした「ふるさと学習」を進める。

◆今後の取り組みのうち令和6年度重点方針と目標

- ・小諸市文化財保存活用基本方針に基づき、文化財を適切に保存・継承するとともに、必要な経費に対し補助金を交付する。また、小諸城址懐古園の県指定及び浅間火山観測所跡の市指定を目指す。
- ・貴重な古文書の散逸を防ぐため、収集及び調査を進め、整理が済んだ古文書を目録として整備し公開する。
- ・旧小諸本陣(問屋場)の復原工事に着手する。また復原後の保存活用計画の策定に取り掛かる。
- ・旧北国街道沿いの本町及び市町地区を中心とした歴史的町並みについて、伝統的建造物群保存地区の選定に係る、説明会や地区内合意の確認を進める。
- ・文化財の周知を図るため、適切な時期に展示会や説明会等を開催し、「ふるさと学習」の推進につなげる。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
①文化財が適切に保存・継承されるとともに、観光面等で有効に活用されている状態。
②地域や住民が自ら、文化財を保存・継承するための活動が行われている状態。
③歴史的資料や古文書等の収集・保存・展示・研究等を一体的に行い、活用されている状態。

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	伝統行事や文化財の保存・活用の状況に対する市民満足度(市民意識調査)					
設定理由	伝統行事や文化財の保存や活用の状況に満足と感じている人の割合が高くなれば、文化財の保存・継承・活用等が適切に行われていると考えられるから。					
算式						単位 %
目標値	計画策定時		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	67.3	計画	71	73	75	76
		実績	67.8	68.1		
指標名	指定文化財保護補助金、無形民俗文化財公開謝礼の申請数					
設定理由	指定文化財保護補助金、無形民俗文化財公開謝礼の活用により、文化財を保存・継承するための活動が行われていると考えられるから。					
算式						単位 件
目標値	計画策定時		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	15	計画	15	15	15	16
		実績	14	16		
指標名						
設定理由						
算式						単位
目標値	計画策定時		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		計画				
		実績				

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

・小諸市文化財保存活用基本方針に基づき、文化財の適切な保存継承を図るとともに、活用方策を検討する。 ・古文書調査室を中心に、歴史的な資料や文書の収集、整理、保存、研究等を進める。 ・旧小諸本陣(問屋場)の解体復原工事を進め、併せて復原後の文化・観光交流拠点として整備を進める。 ・旧北国街道沿いの本町及び市町地区を中心に、歴史的町並みの保存活用を図る。 ・多くの市民に地域の歴史文化を知ってもらうため、「小諸ふるさと遺産」のPRや出前講座、学習会、説明会等の充実を図る。

◆SDGsの取り組み

ゴール4 「質の高い教育をみんなに」 かけがえのない文化財の保存・継承・活用等を図り、ふるさとの誇れる芸術・文化を学ぶ機会の創出を図る。 ゴール11 「住み続けられるまちづくりを」 歴史的、文化的な資料にふれ、ふるさとを愛し大切に思う心を育み、芸術・文化のまちづくりを推進する。

◆個別計画

教育振興基本計画

◆特記事項

--

施策 1-4 かけがえのない文化財を保存・継承し、有効に活用します

事業概要			・小諸市文化財保存活用基本方針に基づき、文化財を単に保存・継承するだけでなく、観光面と連携を取り積極的な活用を図る。 ・個人・団体が所有する文化財が、適切に保存・継承されるとともに、有効活用がなされるよう、助言、情報提供、標識設置、管理・修理費の補助等の支援を行う。 ・ふるさと「小諸」を愛し、大切に思う心を育み、歴史的、文化的なお宝や、自然のすばらしさを活かした「ふるさと学習」を進める。			
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		33,083 千円	32,505 千円	32,505 千円	
	特定財源	国・県支出金	2,295 千円	2,295 千円	2,295 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	14,798 千円	14,798 千円	14,798 千円	
		一般財源	15,990 千円	15,412 千円	15,412 千円	
目的	市民の貴重な財産である文化財を永く後世に伝えるため、適切に保存・継承するとともに、観光面等に積極的に有効活用する。					
令和6年度の目標						
・伝統的建造物群保存対策調査の結果を踏まえ地元との検討を進める。 ・指定文化財保護補助金の交付等を通じ、文化財の保存・継承・活用を推進する。 ・火山防災の日の制定に合わせた浅間火山観測所跡の文化財指定や活用の検討を進める。 ・ふるさと学習につながる取組を行う。						
活動目標	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	文化財に係る専門職員の配置		人	2	2	2
	文化財保護審議会の開催回数		回	2	2	2
特記事項						

施策 1-4 かけがえのない文化財を保存・継承し、有効に活用します

事業概要			北国街道沿いにある「旧小諸本陣」は、城下町であり、宿場町でもあった往時の小諸を偲ばせる貴重な建築物です。国の重要文化財にも指定されているが、著しく老朽化が進行している。このため、これを往時の姿に復原し、永く後世に伝えるとともに、一般に公開し、観光資源として有効活用するため、解体復原工事を実施する。			
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		223,001 千円	175,516 千円	175,516 千円	
	特定財源	国・県支出金	118,190 千円	93,023 千円	93,023 千円	
		地方債	94,200 千円	74,244 千円	74,244 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	10,611 千円	8,249 千円	8,249 千円	
目的	国指定重要文化財である「旧小諸本陣」を往時の姿に復原し、永く後世に伝えるとともに、一般に公開し、観光資源として有効活用するため、解体復原工事を実施する。					
令和6年度の目標						
・復原工事に着手する。 ・復原した建物の保存活用について関係者と協議し、検討を進める。 ・広報等を使い事業の進捗状況を周知する。						
活動目標	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	解体工事の着手			工事実施	工事実施	工事実施
	工事現場見学会の開催		回	1	1	1
特記事項						

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1ー5	スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

所 管	スポーツ課
関 連	健康づくり課
関 連	国民スポーツ大会準備室
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

小諸市では、地域指導者によるスポーツ少年団活動や各種団体の教室、大会の開催などによる様々な年代層へのスポーツ振興が行われている。また、ウォーキングなど年齢や体力に応じた健康保持につながる生涯スポーツも推進している。しかし、スポーツニーズが多様化するなか、参加者や競技団体の減少、団体役員の高齢化などもあり、ニーズに応じた教室の検討や競技団体と連携した人材(担い手)育成が課題となっている。

◆方針

目的
スポーツ推進計画に基づいて、関係団体と利用者ニーズに応じた教室の開催や指導者育成によるスポーツ振興に取り組むとともに、今後予定されている2028年の国民スポーツ大会への準備を進める。 それぞれの体力や年齢・目的などに応じて、生涯を通じてスポーツに親しみ、活動する取り組みを関係課と連携して進める。スポーツに親しむ環境を整備するため、体育施設の充実や個別施設計画による統廃合を含めた適切な整備を図り、安全安心な利用が行える施設管理に努める。 国内トップレベルの選手(アスリート)と交流する機会の充実を図り、競技への興味やスポーツをするきっかけづくりなど市民がスポーツに親しみ、まちの活性化、健康づくりにつながる取り組みを進める。

◆今後の取り組みのうち令和6年度重点方針と目標

- ・2028年開催予定の国民スポーツ大会開催準備のための準備委員会を設置する。
- ・小諸市エリア高地トレーニング推進協議会と連携し、アスリートと子どもたちとのスポーツ交流を行う。
- ・体育施設の適切な維持管理を行い、安全安全な施設運営を行う。
- ・中学校の部活動の地域移行に向けて、学校・地域スポーツ団体との意見交換を進める。

◆目標

- ・目標の計画と達成状況

計 画
①体育施設の利用などを通じて、地域でのスポーツに親しむ人が増え交流や活動が増える状態。 ②市民がそれぞれの体力や年齢・技術・興味・目的などに応じてスポーツに親しむことができる状態。

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	スポーツ・レクリエーションの環境づくりに対する市民満足度(市民意識調査)					
設定理由	満足度が上がることにより、活動などの行いやすい環境の提供ができていると考えられるから。					
算式	満足、やや満足、普通の合計数値					単位 %
目標値	計画策定時		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	54.5	計画	57	58	60	60
		実績	57.5	57.9		
指標名	スポーツを身近に感じている人の割合(市民意識調査)					
設定理由	スポーツを身近に感じている人の割合が高まれば、スポーツを通じた交流や活動などが増えていると考えられるから。					
算式	そう思う・ややそう思うの合計数値					単位 %
目標値	計画策定時		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	—	計画	41	43	45	45
		実績	29	35		
指標名						
設定理由						
算式						単位
目標値	計画策定時		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		計画				
		実績				

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- ・スポーツ交流によるアスリートと子どもたちの交流する機会の充実を図る。
- ・スポーツ団体やスポーツ推進委員等と連携し、生涯スポーツの推進を図る。
- ・2028年開催予定の国民スポーツ大会に向けて、準備を進める。
- ・東海大学スポーツ医科学研究所との包括連携による運動効果の検証と運動を通じた市民の健康づくりを進める。

◆SDGsの取り組み

ゴール3「すべての人に健康と福祉を」
それぞれの体力や年齢・技術・興味・目的などに応じてスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康の保持や増進など多様な意義を持てることを目指す。
ゴール4「質の高い教育をみんなに」
国内トップレベルの選手(アスリート)と接し、競技に打ち込む姿勢や想い、頂点を目指し努力する姿などから、情熱やひたむきさを感じ、生涯学習教育の一助となることを目指す。
ゴール11「住み続けられるまちづくりを」
スポーツニーズの多様化に応じた体育施設の管理運営を人口規模や利用状況なども検討しながら、安全・安心にスポーツに親しめる施設環境づくりを目指す。

◆個別計画

教育振興基本計画／スポーツ推進計画

◆特記事項

成果指標の「スポーツを身近に感じている人の割合」を令和2年度に新規指標として設定し、計画目標値は以前の「文化・芸術・スポーツを身近に感じている人」の割合に準じ設定したが、新規設問が「スポーツのみ」を求める回答のため、数値が減少し目標値との乖離が生じている。

施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事業概要			事業概要		事業概要	
・市民のスポーツの推進、振興を図るため、スポーツ推進審議会の開催、小諸市体育協会をはじめ各スポーツ団体への助成等を行う。			・市民のスポーツの推進、振興を図るため、スポーツ推進審議会の開催、小諸市体育協会をはじめ各スポーツ団体への助成等を行う。		・市民のスポーツの推進、振興を図るため、スポーツ推進審議会の開催、小諸市体育協会をはじめ各スポーツ団体への助成等を行う。	
投入指標			投入指標		投入指標	
年度別事業費			年度別事業費		年度別事業費	
国・県支出金			国・県支出金		国・県支出金	
地方債			地方債		地方債	
その他			その他		その他	
一般財源			一般財源		一般財源	
目的			目的		目的	
スポーツの推進・振興を通じ、市民の健康づくり及び体力の保持増進を図る。			スポーツの推進・振興を通じ、市民の健康づくり及び体力の保持増進を図る。		スポーツの推進・振興を通じ、市民の健康づくり及び体力の保持増進を図る。	
令和6年度の目標			令和6年度の目標		令和6年度の目標	
各団体と連携し、大会や教室を開催して市民の健康維持・増進及びスポーツ振興を図る。			各団体と連携し、大会や教室を開催して市民の健康維持・増進及びスポーツ振興を図る。		各団体と連携し、大会や教室を開催して市民の健康維持・増進及びスポーツ振興を図る。	
中学生の部活動地域移行に向けて関係団体と連携を図る。			中学生の部活動地域移行に向けて関係団体と連携を図る。		中学生の部活動地域移行に向けて関係団体と連携を図る。	
活動目標			活動目標		活動目標	
指標名			指標名		指標名	
スポーツ推進審議会、体育協会、競技団体等との協議の回数			スポーツ推進審議会、体育協会、競技団体等との協議の回数		スポーツ推進審議会、体育協会、競技団体等との協議の回数	
単位			単位		単位	
令和6年度			令和6年度		令和6年度	
令和7年度			令和7年度		令和7年度	
令和8年度			令和8年度		令和8年度	
特記事項			特記事項		特記事項	

施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名			新規・継続		事業優先順位	
スポーツ推進委員会運営事業			継続		B	
会計・款・項・目			所管課		市長公約事項	
一般会計・10教育費・6保健体育費・1保健体育総務費			スポーツ課		1:無	
事業概要						
市のスポーツ推進事業の実践を担うスポーツ推進委員の活動を支援する。						
投入指標						
		令和6年度		令和7年度		令和8年度
特定財源	年度別事業費		706 千円	706 千円	706 千円	
	国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債		0 千円	0 千円	0 千円	
	その他		0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源		706 千円	706 千円	706 千円	
目的						
スポーツを通じて市民の健康維持・増進を図るため、市民への指導及び助言を行うスポーツ推進委員を育成する。						
令和6年度の目標						
・スポーツ推進委員の定例会でニュースポーツの研修を行い、委員のスキルアップを図ると共に出前講座等を開催し、市民へのニュースポーツの普及を図る。						
活動目標						
指標名			単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
出前講座、講習会・研修会等の回数(開催・参加)			回	15	15	15
特記事項						

施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事業概要		幅広い年齢層に対応したスポーツ大会やスポーツ教室等を開催する。			
投入指標		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費	3,958 千円	3,958 千円	3,958 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	43 千円	43 千円	43 千円	
	一般財源	3,915 千円	3,915 千円	3,915 千円	
目的	市民のスポーツ参加意欲を向上させ、健康・体力の増進を図るとともに、スポーツに親しむ機会を提供する。				
令和6年度の目標					
・参加者が減少している競技があるため、競技団体と開催時期や大会の在り方などを検討する。					
活動目標特記事項	指標名	単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	スポーツ大会数	大会	9	9	9
	競技団体等主催市内スポーツ大会数	大会	88	90	92

施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事業概要			市内の小中学校の体育施設(校庭、体育館)を地域のスポーツクラブ、スポーツ団体等に開放する。			
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		317 千円	317 千円	317 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	317 千円	317 千円	317 千円	
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
目的	市民が身近な施設でスポーツ活動に親しむことができるよう、学校教育に支障のない範囲で学校体育施設を開放し生涯スポーツの振興を図る。					
令和6年度の目標						
・学校運営に支障がない範囲での施設利用ができるように学校と利用者の調整会議を開催し、円滑な施設利用を行う。						
・安全で快適にスポーツを楽しむことができるよう施設や備品の整備等を行う。						
活動目標	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	登録団体数		団体	51	52	53
	利用件数		件	2,050	2,100	2,150
特記事項						

施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事業事業名			新規・継続	事業優先順位		
高地トレーニング等推進事業			継続	B		
会計・款・項・目			所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・6保健体育費・1保健体育総務費			スポーツ課	2:有		
事業概要	・高地トレーニング構想の推進として、合宿誘致及び当該合宿チーム等を支援する。 ・アスリートと子どもたちとの交流によるスポーツ振興を図る。 ・上記に必要な市施設の環境整備等を実施する。					
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		998 千円	998 千円	998 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	998 千円	998 千円	998 千円	
目的	高地トレーニング環境の優位性を活かし、スポーツ合宿の誘致を進め、地域ブランド力の向上を図るとともに、アスリートや競技団体選手と子どもたちの交流によるスポーツ振興やまちの活性化と地域づくりにつなげる。					
令和6年度の目標						
・「アストレこもる」などアスリートと子どもたちの交流事業を行い、競技への興味やスポーツを始めるきっかけとなるスポーツ振興を図る。 ・東海大学スポーツ医科学研究所との包括連携協定に基づき、坂のまちを活かした運動効果の検討など市民の健康づくりへ寄与する取り組みを進める。						
活動目標特記事項	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	高地トレーニング関係の延べ宿泊数		件	1,650	1,700	1,700

施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事業概要		教育委員会が管理する各体育施設及び付帯施設の維持管理 (南城公園マレットゴルフコース・南城公園内トイレ・乙女湖公園テニスコート・乙女湖公園ゲートボール場・乙女湖公園内トイレ・乙女湖公園内管理棟・市営野球場・平成の森マレットゴルフコース・御影マレットゴルフコース)				
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		13,083 千円	13,083 千円	13,083 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	703 千円	660 千円	660 千円	
		一般財源	12,380 千円	12,423 千円	12,423 千円	
目的	市民が、それぞれの年齢や体力等に応じて安全・快適に使用できる体育施設の環境を整え、生涯スポーツの振興を図る。					
令和6年度の目標						
・各施設の現状把握を行い、安全で快適な使用ができるよう、適切な維持管理と施設の整備による機能向上を図る。 ・施設利用者の多様なニーズに対応できる施設の運営を進める。						
活動目標	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	担当職員の巡回による施設点検の回数		回	52	52	52
特記事項						

施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事業概要		事業優先順位				
総合体育館等運営事業		B				
会計・款・項・目		市長公約事項				
一般会計・10教育費・6保健体育費・2体育施設費		1:無				
指定管理による体育施設の維持管理。 (総合体育館、武道館、アーチェリー場、すぱーく小諸、和田体育館、懐古射院)						
投入指標	令和6年度		令和7年度	令和8年度		
	18,684 千円		18,684 千円	18,684 千円		
	0 千円		0 千円	0 千円		
	0 千円		0 千円	0 千円		
	0 千円		0 千円	0 千円		
	18,684 千円		18,684 千円	18,684 千円		
目的	社会体育の拠点施設として指定管理者による施設の適切な維持管理を行うとともに、管理者による自主事業の展開により施設利用者の増を図る。					
令和6年度の目標						
・指定管理者と情報共有しながら、利用者サービスの質の向上を図る。 ・自主事業のPRや体育協会各部と連携し、平日利用の促進を図る。 ・2028年の国民スポーツ大会開催に向けた施設整備等の準備を進める。 ・利用者が安全で快適に使用できるよう適切な維持管理を行う。						
活動目標特記事項	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	総合体育館利用者数		人	56,000	56,500	57,000

施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事業概要		事業優先順位				
大栄小諸球場運営事業		B				
会計・款・項・目		市長公約事項				
一般会計・10教育費・6保健体育費・2体育施設費		1:無				
大栄小諸球場の施設及び付帯施設の維持管理。						
投入指標	令和6年度		令和7年度	令和8年度		
	14,033 千円		14,033 千円	14,033 千円		
	0 千円		0 千円	0 千円		
	0 千円		0 千円	0 千円		
	1,915 千円		1,915 千円	1,915 千円		
	12,118 千円		12,118 千円	12,118 千円		
安全で快適に使用できる環境を整えるための維持管理を行う。						
令和6年度の目標						
・利用者が安全で快適に使用できるよう、計画的な整備及び機能向上を図る。						
・新たな有料広告掲載可能な場所の検討を行い、自主財源確保の拡大を検討する。						
活動目標	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	大栄小諸球場利用者数		人	19,500	20,000	20,500
特記事項	大栄小諸球場利用率		%	72	74	76

施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事業概要		天池総合運動場の施設及び付帯施設の維持管理				
投入指標	令和6年度		令和7年度	令和8年度		
	年度別事業費		5,129 千円	5,129 千円	5,129 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	200 千円	200 千円	200 千円	
		一般財源	4,929 千円	4,929 千円	4,929 千円	
目的	トッパスリートの高地トレーニング合宿の拠点施設とするとともに、利用者がそれぞれの目的に合わせて安全に使用できる施設として適切な維持管理を行う。					
令和6年度の目標						
・利用者が安全で快適に使用できる施設環境を維持するため、適切な維持管理を行う。 ・高地トレーニング事業と連携し、合宿利用者への練習環境の提供や近隣地域での合宿者の施設利用の受入を行い、施設利用者の拡大を図る。						
活動目標特記事項	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	高地トレーニング合宿受入団体数		団体	15	17	19
	野球場、陸上競技場、サッカー場の利用団体数		団体	27	28	29

事 務 事 業 名					新規・継続
保健体育総務費人件費					新規
会計・款・項・目					所 管 課
一般会計・10教育費・6保健体育費・1保健体育総務費					スポーツ課
投入 指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度
	年度別事業費		33,233 千円	33,233 千円	33,233 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一 般 財 源		33,233 千円	33,233 千円	33,233 千円

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1ー6	市民の人権意識を高めます

所 管	人権政策課
関 連	人権同和教育課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

平成30年度の「人権・同和問題、男女共同参画に関する市民意識調査」によると、約3割の人が「人権を侵害されたことがある」とし、また、「性別によって役割を固定する考え方」について2割以上の人が賛成と回答している。令和元年度から令和2年度に実施した「部落差別等あらゆる差別をなくす総合計画」「男女共同参画こもろプラン7」の策定に向けた、女性、障がい者団体などへの聞き取り調査でも、差別、偏見、不平等などの体験が語られた。
このような状況を踏まえ、差別のない、すべての人の人権が尊重される社会の実現を図る必要がある。

◆方針

目的
社会には、同和問題をはじめ、女性、子ども、高齢者、障がい者、外国人等に対する差別や偏見など、様々な人権問題が存在している。すべての人の人権が尊重され、差別のない小諸市を築くため、家庭、地域、学校、企業等の様々な場において、学習や啓発、交流活動を通じて市民の人権意識を高め、差別や偏見など人権が侵害されたときに、適切な相談・解決の支援を受けられるよう、体制を充実させる。また、女性活躍推進などの取り組みにより、男女共同参画及びジェンダー平等社会の実現を目指す。

◆今後の取り組みのうち令和6年度重点方針と目標

市民アンケートや企業・子育て世代を対象としたアンケートを基に、国・県等の動向も見ながら、計画期間を令和6年度から令和9年度とする人権及び男女共同参画に係る次期計画を策定する。
様々な人権課題に対し、庁内外の関係機関等と連携しながら、家庭、地域、学校、企業等へ向けた教育に重点を置いた啓発に努める。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
①市民が、家庭、地域、学校、企業等の様々な場において、人権に関する知識が得られ、様々な人々との交流の機会を通じ、差別や偏見等に気づくことができる人権感覚が身についた状態。 ②市民が人権問題について、必要なときに相談ができ、解決に向けた支援が受けられる状態。 ③男女共同参画及びジェンダー平等社会が実現できた状態。

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	1年以内に、差別や偏見など人権を侵害されたことのある人の割合(市民意識調査)					
設定理由	人権を侵害されたことのある人の割合が低くなれば、市民の人権意識が高まったと考えられるから。					
算式						単位 %
目標値	計画策定時		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	9.8	計画	0	0	0	0
		実績	8.4	9.3		
指標名	審議会委員等への女性の参画率					
設定理由	審議会委員等への女性の参画率が高くなれば、男女共同参画及びジェンダー平等社会の実現に近づくから。					
算式						単位 %
目標値	計画策定時		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	40.4	計画	45	45	45	45
		実績	38.2	38.8		
指標名						
設定理由						
算式						単位
目標値	計画策定時		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		計画				
		実績				

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- ・家庭、地域、学校、企業等の様々な場において、部落差別をはじめとした多くの人権課題に対する研修、啓発、情報提供に努める。
- ・部落差別をはじめ、あらゆる差別の解消に向けた取り組みの拠点として、人権センターの交流・啓発活動、相談等の機能をさらに高める。
- ・男女共同参画社会づくりに向けて、女性活躍の推進、ワークライフバランス、性の多様性などの情報提供及び啓発に努める。
- ・外国籍市民くらしの相談、日本語教室、交流事業など、生活する外国人に対する事業の充実と国際理解に向けた啓発に努める。
- ・人権及び男女共同参画に係る次期計画(令和6年度～令和9年度)を策定する。

◆SDGsの取り組み

ゴール5「ジェンダー平等を実現しよう」

家庭、地域、学校、企業等の様々な場において学習や啓発を行い、性別に基づく固定的な考え方や役割をなくし、男女平等の社会を目指す。

ゴール16「平和と公正をすべての人に」

家庭、地域、学校、企業等の様々な場において学習や啓発、交流活動を行い、差別や偏見をなくし、すべての人の人権が尊重される社会を目指す。

◆個別計画

部落差別等あらゆる差別をなくす総合計画/男女共同参画こもろプラン/教育振興基本計画

◆特記事項

施策 1-6 市民の人権意識を高めます

事務事業名			新規・継続	事業優先順位		
隣保館運営事業			継続	B		
会計・款・項・目			所管課	市長公約事項		
一般会計・3民生費・6人権政策費・2隣保館運営費			人権政策課	1:無		
事業概要	・人権啓発の拠点としての人権センターの運営					
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		11,488 千円	11,488 千円	11,488 千円	
	特定財源	国・県支出金	4,000 千円	4,000 千円	4,000 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	202 千円	202 千円	202 千円	
		一般財源	7,286 千円	7,286 千円	7,286 千円	
目的	人権センターを人権啓発の拠点、地域に開かれたコミュニティーセンターとして、各種事業を展開しながら、地域福祉の向上と部落差別等あらゆる差別の根絶に向けた人権意識の高揚を図る。					
令和6年度の目標						
・センター自主事業を開催し、学習、啓発、交流を通じて、人権意識の高まりを目指す。 ・人権フェスティバルを開催し、学習、啓発、交流を通じて、人権意識の高まりを目指す。 ・第7次小諸市部落差別等あらゆる差別をなくす総合計画(令和6年度～令和9年度)を策定する。						
活動目標	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	人権フェスティバルの開催		回	1	1	1
特記事項	文化、教養事業の実施回数		回	79	79	79
	・令和2.3年度は、新型コロナウイルスの影響により、計画された自主事業や人権フェスティバルが中止となった。 ・令和6年度新たな計画を策定する。 ・令和3年度に人権センターの耐震診断を実施した。					

施策 1-6 市民の人権意識を高めます

事務事業名			新規・継続	事業優先順位		
男女共同参画推進事業			継続	B		
会計・款・項・目			所 管 課	市長公約事項		
一般会計・3民生費・6人権政策費・3男女共同参画推進費			人権政策課	2:有		
事業概要	・男女共同参画推進のための各種講演会、研修会等の啓発活動の実施					
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		544 千円	544 千円	544 千円	
	特定財源	国・県支出金	43 千円	43 千円	43 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一 般 財 源	501 千円	501 千円	501 千円	
目的	男女の違いを正しく認め合った上で、互いに尊敬しあい、一人ひとりが社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できる男女共同参画社会づくりを推進するため。					
令和6年度の目標						
・男女共同参画セミナーを開催し、男女共同参画社会への意識の高まりを目指す。 ・女性ネットの活動を行い、女性リーダーの育成を図る。 ・男女共同参画こもろプラン8(令和6年度～令和9年度)を策定する。 ・市内企業の男女共同参画社会への意識の高まりを目指す。						
活動目標	指 標 名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	審議会、委員会等の委員に女性が占める割合		%	45	45	45
特記事項						

施策 1-6 市民の人権意識を高めます

事業概要			新規・継続		事業優先順位	
多文化共生推進事業			継続		B	
会計・款・項・目			所 管 課		市長公約事項	
一般会計・3民生費・6人権政策費・4多文化共生推進費			人権政策課		1:無	
・相談等による外国籍市民の地域生活の支援 ・外国籍市民の日本語学習の支援 ・外国籍市民支援ボランティアの育成 ・国際交流事業の支援						
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		482 千円	482 千円	482 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一 般 財 源	482 千円	482 千円	482 千円	
目的	互いの人権を尊重し、国際感覚を高め、文化や個性の違いを認め合う意識を醸成するため、交流事業を行う。外国籍市民が日常生活に必要な情報を知り、コミュニケーション力を高めるため、くらしの相談や日本語学習支援、支援ボランティアの育成を行う。					
令和6年度の目標						
・外国籍暮らしの相談事業を行い、外国籍住民の生活の利便を図る。 ・小諸日本語教室を開き、外国籍住民等の生活の利便と、地域住民とのコミュニケーションの向上を図る。 ・日本語ボランティア学習会を開催する。 ・国際交流のつどいを開催する。						
活動目標	指 標 名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	日本語学習支援教室開催回数		回	60	60	60
	日本語学習支援セミナー等の開催回数		回	2	2	2
特記事項						

施策 1-6 市民の人権意識を高めます

事務事業名			新規・継続		事業優先順位		
人権同和教育推進事業			継続		B		
会計・款・項・目			所 管 課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・4人権同和教育費・1人権同和教育費			人権同和教育課		1:無		
事業概要			人権同和教育を学校、地域、企業等で推進する。				
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	年度別事業費		3,295 千円	3,295 千円	3,295 千円		
	特定財源	国・県支出金	185 千円	185 千円	185 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	120 千円	120 千円	120 千円		
		一 般 財 源	2,990 千円	2,990 千円	2,990 千円		
目的			市民の人権意識が高まり、学校・企業・地域などあらゆる分野で差別や偏見のない社会実現のため、人権に関する教育を実施するとともに、啓発活動を行う。				
令和6年度の目標							
・人権問題学習講座を開催し、市民の人権意識の向上を図る。 ・人権懇談会を開催し、市民の人権意識の向上を図る。 ・公民館人権同和教育研修講座を公民館と共催し、市民の人権意識の向上を図る。 ・小諸市に赴任した教職員等を対象とした新任転任教職員人権同和教育研修会等を開催し同和問題の理解を促す。 ・企業に対して人権啓発を行う。							
活動目標	指 標 名			単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	人権同和教育推進委員会研修会の開催回数			回	2	2	2
	人権懇談会の開催区数			区	68	68	68
特記事項			活動指標②「人権同和教育推進委員会(助言者会)の開催」(人権懇談会の充実を図るためには、助言者会を開催し、専門的な意見を集約することが必要だから。:目標3回)をR3年度から「人権懇談会開催区数」に変更				

施策 1-6 市民の人権意識を高めます

事業概要		・解放子ども会の運営				
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		144 千円	144 千円	144 千円	
	特定財源	国・県支出金	25 千円	25 千円	25 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	119 千円	119 千円	119 千円	
目的	同和地区の子どもたちが「差別を見抜き、差別を許さず、差別と闘う」力を身につけるとともに、仲間づくりを行う場としての解放子ども会を運営する。					
令和6年度の目標						
・子ども会を開催し、学習を通じて差別に負けない子供を育成する。						
・会員の減少に伴う子ども会の今後の方向を検討する。						
活動目標	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	解放子ども会の開催回数(交流会含む)		回	15	15	15
特記事項						

事 務 事 業 名					新規・継続
人権同和政策総務費運営費					継続
会計・款・項・目					所 管 課
一般会計・3民生費・6人権政策費・1人権同和政策総務費					人権政策課
投入 指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度
	年度別事業費		6,072 千円	6,072 千円	6,072 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	429 千円	429 千円	429 千円
	一 般 財 源		5,643 千円	5,643 千円	5,643 千円
事 務 事 業 名					新規・継続
人権同和政策総務費人件費					継続
会計・款・項・目					所 管 課
一般会計・3民生費・6人権政策費・1人権同和政策総務費					人権政策課
投入 指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度
	年度別事業費		23,661 千円	23,661 千円	23,661 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一 般 財 源		23,661 千円	23,661 千円	23,661 千円

